

編集後記

『言語と文化論集』の第5号をお届けする。この論集は修士論文に発表の機会を提供することを大きな目的としている。本来ならば論文提出後あいだをおかずに、分量などを調整した原稿を出してもらうのであるが、内容に更吟味を加える時間も必要かと考えて、締切りを9月末に延ばしてある。それより早く原稿を提出してもいっこうに構わないのであり、9月末をぎりぎりの限度と考えると用意していただきたいと思う。また最近印刷所がフロッピーを要求するのが普通になっているので、その点も考えていただきたい。原稿提出に際しては、下の「投稿要領」をよく読んで、手拔かりがないようお願いしたい。

編集委員 国広 哲弥

外国語学部教授

投稿要領

締切：9月末日。

分量：（論文）400字で50枚以内。

（研究ノート）400字で30枚以内。

提出先：編集委員（原稿の状態などをチェックする必要があるの、できるだけ本人から直接手渡すこと）。

和文原稿には英文のタイトルを付けること。

完全原稿を提出すること。校正時の加筆は認めない。

原稿には下記を書き入れること。

連絡先：住所、電話番号

身分：専攻、課程、修了年次、在学年次。

神奈川大学大学院
言語と文化論集 第5号

1998年12月5日 印刷

1998年12月10日 発行

編集発行 神奈川大学大学院
外国語学研究所
(横浜市神奈川区六角橋 3-27-1)

制作 昭和情報プロセス株式会社